

# 22人が 「なりきり牧水」

## 群馬、神奈川県からも参加

### 生誕地の散策を満喫

日向

郷土の歌人若山牧水の「旅姿」になってゆかりの地を散策する「第13回なりきり牧水」が24、25日、日向市東郷町の牧水公園一帯であり、遠来の群馬県や神奈川県をはじめ、市内外から集った6〜78

歳の22人が牧水に思いをさせた。主催はあくがれて牧水実行委員会。

24日は、アユ掛け体験、川遊び、そうめん流しや地元食材を使った料理を囲んでの夜なべ談義で交流を深め、

25日が散策。

参加者は着物に山高帽、つえを持って牧水に扮(ふん)し、また、

散策しながら作る短歌を書き留める短冊を携えて、牧水生家や若山牧水記念文学館を見学した。その後、ふるさと

との家で、それぞれが作った短歌を披露した。

群馬県から参加した会社員の武田俊樹さん(27)は友人に「来てみないか」と誘われ初めて参加した。風の音、せせらぎの音、雨の音を聞き、豊かな自然の余韻に浸りながら文学に触れることができた。心の落ち着く経験をさせてもらった」と話していた。



牧水公園内に立つ牧水銅像の前で、記念写真に納まる参加者(25日)